

中庭にあるアトリエ

平日、午後にインフォメーション・スタッフが中庭に移築された小磯良平のアトリエで解説。



展覧会にあわせて、学芸スタッフによるギャラリーツアーもしくは解説会を適宜行います。また、美術講座をはじめ、講演会や関連講座、子供向けワークショップ「びじゅつかん大作戦」、一般の方も対象としたワークショップや「赤ちゃん家族の日」も随時開催いたします。

※詳細は美術館までお問い合わせください。

六甲アイランド美術館めぐり

六甲アイランドには小磯記念美術館のほかにも、神戸ゆかりの美術館と神戸ファッション美術館があり、芸術・文化ゾーンを形成しています（3館で相互割引があります。一部の展示で割引がない場合もあるため、詳細については各館にお問い合わせください）。



神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館 建物外観



神戸ゆかりの美術館

TEL：078-858-1520



神戸ファッション美術館

TEL：078-858-0050

神戸市東灘区向洋町中 2-9-1

■開館時間 午前 10 時～午後 5 時
※入館は閉館の 30 分前まで

■休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝休日の時は直近の平日）
年末年始（12/29～1/3）、展示替期間など

入 館 料	個 人	団体 (30 名以上)
一 般	200 円	160 円
大学生	100 円	50 円

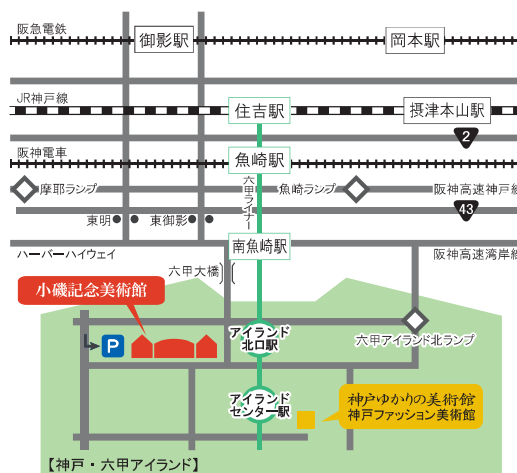
◎ただし、特別展などの入館料はその都度定めます。

◆高校生以下の方は無料

◆神戸市在住の 65 歳以上の方は特別展開催時は半額、それ以外の展示は無料（住所・年齢のわかるものをご持参ください）。

※詳しくは美術館までお問い合わせください。

■交 通 ●JR「住吉駅」または阪神「魚崎駅」乗り換え
六甲ライナー「アイランド北口駅」
（住吉駅から徒歩 7 分、魚崎駅から 5 分）下車、西へ徒歩すぐ
●阪急「御影駅」の南側より、みなと観光バス 131 系統にて「ウエストコート 3 番街前」下車すぐ
※美術館の地下に六甲アイランド公園西駐車場（有料）があります。



神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 5 丁目 7（六甲アイランド公園内）
TEL：078-857-5880 FAX：078-857-3737

<https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>



展覧会案内

2025.4 ▶ 2026.3



小磯良平《大原女》制作年不詳 当館蔵

KOBE CITY
KOISO MEMORIAL MUSEUM
OF ART

神戸市立小磯記念美術館

昭和の洋画
没後80年
林重義作品を中心に
コレクション企画展示

小磯良平作品選Ⅲ

カレンダー（休館日）

特別陳列
Feature Exhibition

戦後神戸の女性画家二人展
松本奉山・中島節子 日本画・洋画 抽象の試みー

日本画家・松本奉山(1925-2010)は1938年に神戸市灘区に転居し、渡米をきっかけとして独自の水墨画を制作しました。洋画家・中島節子(1924-1979)は神戸市に生まれ、小磯良平に師事、1957年に新制作展新作家賞を受賞し、同展を主な作品発表の場としました。抽象性の高い二人の作品をたどります。



＜展示室 3＞

＜コレクション企画展示 展示室 2・3＞

展示室 2 | 画家たちの眼と
小磯良平素描選

展示室 3 | 小磯良平作品選Ⅰ

小磯良平は素描の名手でした。奥入瀬(青森県)や小豆島(香川県)に取材した風景作品を特集展示します。また古家新、中西利雄、榊井一夫、鴨居玲などの作品を展示します。



＜展示室 3＞

特別展
Special Exhibition

藤田嗣治 7つの情熱
LES 7 PASSIONS DE FOUJITA

藤田嗣治(レオナルド・フジタ/1886-1968)は、東京美術学校を卒業後に渡仏し、「乳白色の下地」の女性像でエコール・ド・パリの代表的作家となりました。本展では藤田が情熱をかためた7つのキーワード(自己表現、風景、前衛、東方と西方、女性、こども、天国と天使)に注目し、藤田の創作の源泉に辿ります。藤田のカatalog・レズネを編集したシルヴィー・ビュイッソン氏の監修のもと、フランス国内の個人が所蔵する版画、デッサン、水彩を中心に展覧します。あわせて藤田とゆかりのある日本人美術家たちの作品や資料を展示します。



＜展示室 3＞

小磯良平作品選Ⅱ

当館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。
2025年は戦後80年を迎えます。従軍画家として描いた素描などを展示します。

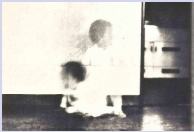
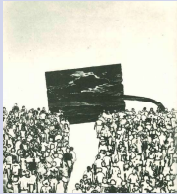


＜展示室 3＞

特別展
Special Exhibition

時をかける版画
小磯良平の版画と藝大版画研究室の人々

戦前から版画に関心を持っていた小磯良平は、戦後、東京藝術大学で教鞭をとり、版画教室の開設に尽力、指導を小野忠重、脇田和、駒井哲郎など各分野の名手に委ねました。小磯の銅版画の刷りの一部を中林忠良が担当しています。彼の同級生には星野美智子、野田哲也、柳澤紀子など現在も第一線で活躍する版画家たちがいます。本展では版画研究室をめぐる指導者と教え子たちの作品を紹介します。



＜展示室 3＞

小磯良平作品選Ⅲ

当館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。

特別展
Special Exhibition

小磯良平展
幻の名作《日本髪娘》

小磯良平の画業をたどる上で欠かすことのできない名作《日本髪娘》(韓国国立中央博物館蔵)は、神戸の山本通にあった戦前の小磯のアトリエで描かれました。1935年の「第一回第二部会展」に出品されると、時をおかず、李王家美術館が購入し、海を渡ってからは消息が判然とせず、幻の作品と考えられていました。
2008年、韓国国立中央博物館が李王家美術館コレクションの洋画を特別展「日本近代西洋画」にて展示したことで、《日本髪娘》が「再発見」されました。約90年ぶりに日本で展示される《日本髪娘》と、当館所蔵品を中心に小磯良平の画業を振り返り、新たな視点で小磯芸術をご紹介します。



＜展示室 3＞

4月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

5月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

6月	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

7月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

8月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

9月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					

10月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

11月	日	月	火	水	木	金	土
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

12月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

1月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

2月	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	